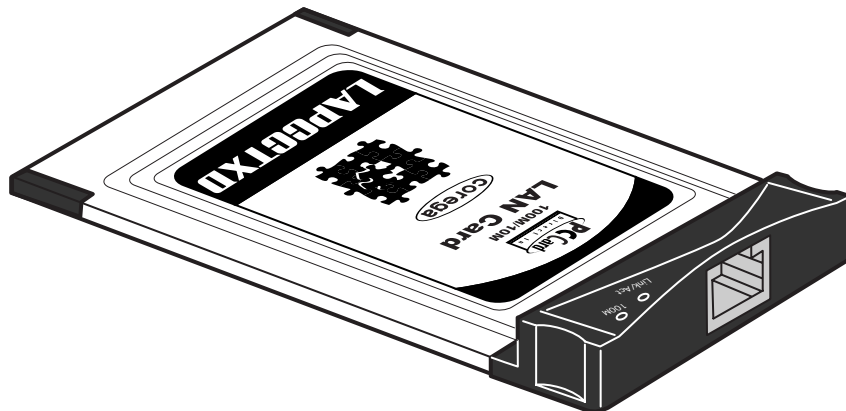




# CG-LAPCCTXD

詳細マニュアル

トラブル解決 Q&A



# トラブルシューティング

本製品に関して起こりうる代表的なトラブルの例と、その対処方法について説明します。代表的なトラブルには、ドライバおよびネットワークのトラブルがあります。

## ドライバのインストール

ここでは、ドライバのインストールに伴うトラブルの代表的な例と、その対処法について説明します。

### ●本製品を認識しない

正常にインストールできない場合、またはデバイスマネージャによるインストールの確認にしがたって確認を行うと「(本製品名)」についているアイコンが以下のようにになっている場合は、ドライバのインストールに失敗しています。

- ・「ネットワークアダプタ」の項目がない
- ・「その他のデバイス」や「不明なデバイス」の下に入っている
- ・デバイスマネージャで「!」や「?」マークが付く
- ・「(本製品名)」アイコンが2つ以上ある

### ●考えられる原因

上記のようにになっている場合、ドライバのインストール中に行われる Windows システム関連ファイル (netapi.dll など) のインストールをキャンセルしてしまった場合などが考えられます。

### ●対処方法

#### ①本製品がパソコンにしっかりと挿し込まれていますか？

パソコンの種類によっては、本製品を拡張スロットに挿入するとき、挿しにくい場合もありますが、本製品は拡張スロットにしっかりと押し込むようにしてください。奥までしっかりと挿し込まれていないと、本製品が認識されないことがあります。

#### ②再インストールをします

本製品のドライバのインストールに失敗していると思われるときは、ドライバをいったん削除し、再インストールを行ってください。ドライバの削除と再インストールの方法は、各詳細マニュアルの以下のページに記載されている「ドライバの再インストール」の手順をご覧ください。

- ・ Windows XP ..... P.2
- ・ Windows 2000 ..... P.2
- ・ Windows Me ..... P.2
- ・ Windows 98SE ..... P.3



一度本製品のドライバのをインストールすると、ドライバに関する情報がパソコン内に保存されるため、ドライバの削除をおこなった後に再びドライバをインストールすると、本マニュアルに記載されている画面と一部異なることがあります。そのときは、画面に表示される指示にしたがって再インストールを行ってください。

## デバイスマネージャで「×」が付く

---

### ●Windows Me/98SEの場合

デバイスマネージャの「(本製品名)」アイコンに「×」マークが付いている場合は、デバイスが「使用不可」または「無効」にされています。以下の手順にしたがって使用許可の状態に切り替えてください。

- 1 (本製品名) を選択し、「プロパティ」－「全般」タブを表示します。
- 2 「このハードウェア環境で使用不可にする」のチェックを外し、「すべてのハードウェア環境で使用する」にチェックを付けてください。  
「デバイスの使用」欄の「このハードウェアプロファイルで使用不可にする」のチェックを外してください。

### ●Windows XP/2000の場合

各詳細マニュアルの「本製品を一時的に使用しないとき」をご覧ください。

## ネットワークのトラブル

---

「通信できない」や「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

### ●接続先機器のLink LEDは点灯していますか?

接続先機器（ハブやスイッチ）と正しく接続されている場合には、接続機器のLink ランプが点灯します。接続先機器のLink ランプが点灯していることを確認してください（Link LEDは製品によって呼び方が異なります）。点灯していない場合は、以下のことを確認してください。

- ・ 接続先機器の電源が ON になっているか
- ・ LAN ケーブルが正しく接続されているか
- ・ 接続先機器の特定のポートが故障していないか  
ケーブルを別ポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。
- ・ LAN ケーブルに問題はないか  
ケーブルの不良は概観から判断しにくいので、（結線は良いが、特性が悪いなど）気付かない場合があります。他のケーブルに交換するなどして、動作を確認してください。
- ・ 接続先機器の通信速度と合っているか  
接続先機器と合った通信速度を選択してください。

## ●接続先機器のLink LEDが点灯していても障害が起こっていたら

Linkランプが点灯していても、通信が遅いなどの障害が発生しているときは、以下のことを確認してください。

- ・ LANケーブルの長さは正しいか

二つのネットワーク機器の直接リンクを形成するLANケーブルは、最長100mまでと規定されています。LANケーブルが100m以上の場合は、100m以内にして再度接続しなおしてください。

- ・ 正しいLANケーブルを使用しているか

LANケーブルは、以下の規格のものを使用してください。コレガ社製ケーブルをご使用されることをおすすめします。

1000BASE-Tの場合 : エンハンスド・カテゴリ5以上

100BASE-TXの場合 : カテゴリ5以上

10BASE-Tの場合 : カテゴリ3以上

- ・ LANケーブルに問題はないか

ケーブルの不良は概観から判断しにくいので、(結線は良いが、特性が悪いなど)気付かない場合があります。他のケーブルに交換するなどして、動作を確認してください。

## おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・ 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2005 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2005 年 1 月 初版